

黒岩 ヒストリー (第十話)

大学篇
-その3-



今回は東京生活、大学生活のイントロダクションについて触れたいと思います。

18才の春は私にとって学校も変わる、生活場所も変わる、生活スタイルも家族同居から一人暮らしに変わる、と全く未知の世界に飛び込む節目でしたが、事前に何の不安も感じていませんでした。今思えば不思議としか言いようがありません。

まずは生活について。アパートは東大駒場キャンパス裏門から歩いて1分。渋谷区山手通り沿いの築30~40年の風呂なし・トイレ共同・1DK・家賃4万5千円であることは以前記しました。仕送り月10万円。家賃に電気・ガス・水道・電話代・新聞・銭湯代・理髪代を入れると固定費で月7万円。残り3万円で食費等となりますのでかなりきつい事は確か。遊興費のためにはいずれバイトしなければならぬ事は分かっていました。

自炊するつもりでいましたが、東京生活2日目に朝食をとったものの3日目から朝食抜き。18年間の習慣などあっさりと1日でついでるものです。ごはんも2日目の夕食に1度炊いたきり。その後電気炊飯器の蓋があく事はありませんでした。結局、私の食生活を支えてくれたのはアパートから30mにあったセブンイレブン。都会の便利さにどっぷりと沈みました。

銭湯通いも初体験。1回250円の銭湯代も堪えましたが、特に時間帯が。朝昼は入れず、夜は11時半まで。土曜日定休も閉口ものでした。アパートに湯沸かし器もなかったので、ヤカンで沸かしたお湯に水を足して流して髪を洗ったものです。アパートから徒歩1分の立地だったので、銭湯に電車を通う大学の同級生よりむしろ自分を慰めて

ていました。大学生活ですが、合格発表時にクラス分けも発表。文科I類(法学部)と文科II類(経済学部)混合でクラスを作り、第2外国語(独、仏、露、中、※私は独語未修)でクラス分け。私は文科I・II類14組となり、その後今も大変親しくしている45人の仲間と出会う事となります。合格発表時に入学式前のクラスオリエンテーション(クラスを数班に分けて、同じ14組2年生から大学の説明を受ける)の予約を入れます。私は予約日を記入する受付の前の学生がたまたま女子学生であったことから、彼女と同じ日程を予約しました。ここからクラス仲間とのキャンパスライフが始まります。



1985年4月12日大学入学式の朝、父とアパート玄関前

黒岩たかひろプロフィール

- ・新発田在住、家族：妻、長女(小6)、長男(小4)
- ・東京大学法学部中退
- ・在学中、加藤紘一衆議院議員秘書
- ・(財)住宅産業研修財団
- ・旧建設省の外郭団体で建築会社・工務店の経営研修を担う
- ・(株)日本アビリティーズ社
- ・高齢者介護の現場で働く
- ・2002年、参院新潟補選で当選、1期務める
- ・2009年、衆議院初当選、以後3期務める
- ・2010年、法務大臣政務官
- ・2019年、立憲民主党国対委員長代理
- ・2021年、衆議院選挙で落選

「黒岩たかひろ応援団」に是非ご入会を!

「黒岩たかひろ応援団」は黒岩たかひろの更なる飛躍を期し、会員一人ひとりがその政治活動をサポートすることを目的としております。皆様から頂いた会費は、会報の発行を含む政治活動に活用させていただいております。また、応援団ご入会の方には優先的に地域で行われる集会、座談会のご案内をさせていただきます。今後、より充実した活動を行うためにも多くの方のご入会をお待ちしております。

【年会費】 年額1口5,000円より

【お振込先】 郵便局：口座番号 00550-4-74787 口座名「黒岩宇洋と歩む会」

銀行：第四北越銀行 新発田中央支店 口座番号(普) 2104899 口座名「黒岩たかひろと歩む会」

会費納入にあたっての注意事項

1. 外国人からの政治活動に関する寄付を受け取る事はできません。
2. 本人以外の名義または匿名により政治活動に関する寄付をすることはできません。

まつりごと 黒岩政通信



猛暑の中、山間地での街宣活動(五泉市高石地区)

小さな政治を
大きな政治へ

暑中見舞い申し上げます。しかし、ここまで解散総選挙が延びるとは。いかに自民党の裏金事件の衝撃が大きかったとはいえ、昨年6月の①通常国会会期末から②益明け内閣改造時③秋の臨時国会冒頭④会期末⑤通常国会冒頭⑥予算成立時⑦会期末、と度重なる解散のチャンスに踏み切れなかった岸田総理の優柔不断さにはあきれます。こちらとしてはまな板の上の鯉ならただ切られるのを待つだけですが、実際にはその都度競走馬の如く出走し直す1年2カ月。今度こそはば間違いない(はずの)秋レースに向け、再度仕切り直します。

お盆が明ければ、政治の季節は自民党総裁選一色とさすがに立憲民主党代表選色がこびりつく景色となります。総裁選については個人的見解として石破氏が最右翼にして総選挙向けに最強か。強度の順で小泉進次郎氏、河野太郎氏といった面々が続きそうですが、最弱の岸田総理再選まで何でもあり得る表紙選びでしょう。こちらの代表選については内輪の議論に拘泥せず、政権交代の可能性が1%でも高い人物を選ぶシンプルなものにすべき、またそうなる様力を尽くします。

この度の総選挙は自民党のズルして、ワルしてカネや票をかき集めた裏金議員や旧統一教会議員を「懲らしめる」選挙に矮小化してはなりません。政治と言う「公共サービス施設」の恩恵を受ける為にパー券や企業献金と言う「入場券」を必要とする理不尽なシステムを打ち壊し、一部特定の人の為の「小さな政治」から国民全体の「大きな政治」に大転換する選挙にしようではありませんか。皆さんからの特段のご理解をよろしくお願い申し上げます。

前衆議院議員

黒岩宇洋

たかひろ

自民党裏金事件を契機に一応「政治資金規正法改正案」なるものが、今通常国会で成立した。網羅的に解説するとむしろ分かり辛くなるので簡潔に問題点を指摘させて頂く。自民党がこれで再発を防止できると胸を張って主張する改善点は主に3つ。①秘書などの責任に転嫁できない様にする「いわゆる連座制」②幹事長が年間14億円使うなど用途不明な「政策活動費」の用途公開③「パーティー券規制」、の3点である。



①「いわゆる連座制」 →問題点：確認書

「『いわゆる連座制』とうたっているが「連座制」とは全く別物であるのが第1の問題点。連座制とは秘書が有罪になったら無条件に議員本人が有罪になる制度の事。今回の改正は収支報告書を秘書（会計責任者）が作成するときに議員に「確認書」なるものの提出を義務付けるのみ。確認書を提出しているから知らぬ存ぜぬは通じないだろうと言うが、全く通じるのである。現時点では収支報告書のどの部分の確認を義務付けるのかも定かではないが、そもそも重要な事が一つ。今回の裏金事件に関して言えば全てのケースが派閥からの収入が収支報告書に「不記載」なのである。書いてないものをどれほど確認しようが、または収支報告書を丸暗記しようが、確認はできない。結局、議員は収支報告書を「確認しました」でも「私は知りませんでした」で現行と一切変わらないのである。

②「『政策活動費』の用途公開」 →問題点：①公開内容 ②黒塗り③10年後

「『政策活動費』の用途公開」の1点目の問題点は公開内容が不明確。現時点では目的は交際費などの費目ごと、日時は月ごとと説明されている。要は最終支払先の店や個人も公開されないのである。また、多少公開内容が詳細になったとしても自民党の説明では「黒塗り」も有り得るとの事であり、その黒塗りの範囲も明確化されていない。公開されても真っ黒々ののり弁当では何の意味もない。更にダメ押しは10年後公開で、当時の責任者は誰もいなかったりするのである。どこまでダメを押せば気が済むのかと唾然とするが、徹底に徹底を重ねたザル法のレジェンドと言っているだろう。

③パーティー券規制 →問題点：①公開基準5万円超 ②回数制限なし

政治資金パーティー券の公開基準の20万円超から5万円超に引き下げについては、ほとんど何の意味をなさないはずである。今も20万円超の公開基準に対し大手企業はグループ会社、下請け会社等に分散して基準内に抑えている。それを面倒とは言えさらに細分化するだけで対応はいたって簡単。更にパーティー開催数制限もないのだから回数の増加と購入先の細分化を併せて活用すれば、ザルは見事に完成する。いたって単純な仕組みなのである。



代表視察 ～「ケンタ」を改め「代表」に



7月9日、泉健太立憲民主党代表が新発田市を視察。土地改良事業を視察し、その後地元農業関係者と懇談会を行いました。泉代表は前日新発田市入り。酒を酌み交わしました。元々泉代表とは親しく「黒岩さん」「ケンタ」と呼び合う仲。しかし、代表を人前で「ケンタ」ではまずいし、かといって今さら「泉さん」でも面映ゆい。よって人前では「代表」個人的な場では「ケンタ」という事に落ち着きました。

幹事総会 ～たった2年で3倍返し



3月10日、安住淳立憲民主党国会対策委員長をゲストにお招きし、後援会幹事総会を開催しました。この幹事総会ですが、前回総選挙後の2年前には参加者が200人弱と激減。それが去年は300人超と全盛期並みに盛り返し、今年は600人超の超満員。参加者の人数だけでなく選挙結果も3倍返しといきたいところです。

秋葉区総決起集会 ～都市型地域も大盛況



6月9日、岡田克也立憲民主党幹事長を招いての秋葉区総決起集会。秋葉区は若い世代も増加しており、新潟3区内で最も都会、都市型地域と言っているでしょう。同じ人口規模でも都会程人は集まりません。今回は300人超の参加者。過去の秋葉区での集会と比べても最多レベルとの事です。新選挙区でも浸透しつつあります。

宇の花総会 ～「兄さん」呼んでもらっても



7月20日、宇の花総会。今年のゲストは江田憲司衆議院議員。実は江田さんとは共通の趣味が日本居酒屋巡りということで差し飲み友達です。「私と黒岩さんは同期（2002年初当選）です。」との江田さんの挨拶を受けて、私から「正確には私は2002年春の補選、江田さんは2002年秋の補選です。私と黒岩さんは同期（2002年初当選）です。」と続けた。「芸人の世界では1日でもデビューが早ければ『兄さん』。江田さん、今後『黒岩兄さん』と呼んでもらっても一向に差し支えありません。」江田さん笑ってました。